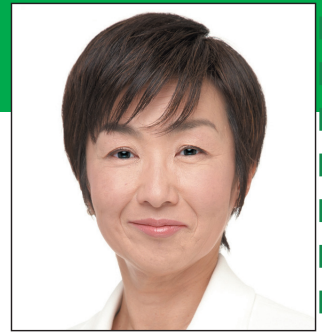


稲橋ゆみ子/谷山きょう子 活動レポート



立川市 市議会議員
谷山きょう子

所属 立川・生活者ネットワーク 発行日/2016年3月30日
〒190-0004立川市柏町4-56-10 2階 TEL.042-535-9110 FAX.042-535-9116
<http://taniyama.seikatsusha.me/> <http://inahashi.seikatsusha.me/>



立川市 市議会議員
稲橋ゆみ子

せいぶつ た よう せい き き 生物多様性の危機



私たち人間の活動により、生きもののたちの絶滅のスピードは自然の速度の約1,000倍になっていると言われています。私たち人間も生きものであり、他のたくさんの生きものつながらり、支えられて生きています。生物多様性の恵みを受けて、私たちの暮らしは成り立っています。生活者ネットワークでは、生態学だけでなく、経済、科学、文化などの価値からも重要な生物多様性について取り組んでいます。

議会活動報告

稲橋ゆみ子の一般質問 2015年12月議会

質問・生物多様性についての立川市としてどのように捉えているか。また、2015年6月27日(土)柴崎学習館で行われた「生物多様性と私たちの生活」生物多様性ってなんだろう」講演会が行われたことは、生物多様性を社会に浸透させる事業として評価している。その上で、東京都や他の自治体でも策定している「生物多様性地域戦略」の策定が必要ではないか。

答弁・生物多様性の確保は世界的に重要な課題と認識。第4次長期総合計画において水と緑を保全し、次世代に引き継ぐ生物多様性の確保の取り組みを進めている。「立川市生物多様性地域戦略」策定に向けての計画は立てていないが、今年度(2015年度)から生き物調査を行うので、得られた結果などを参考に今後研究したい。生き物調査によって市民一人一人が生物多様性の重要性に気づき、環境に配慮した行動につなげていくことが重要と考える。

谷山きょう子の環境建設委員会質問

質問・12月議会で、今年度中に生き物調査を行うと答弁があったが、どのように行われたか。また、生物多様性地域戦略の策定については、生き物調査で得られた結果などを参考に検討されているか。協働のまちづくり推進事業補助金を使い、NPO法人と環境対策課が協働で行う「市民による生き物データベースづくり事業」はどのように行われるのか。市民の情報をどのように集めるのか。

答弁・生き物調査は、今年度は生き物観察のコツを学ぶ取り組みで、11月21日(土) 玉川上水、2月6日(土) 多摩川未来パークで行った。「立川市生物多様性地域戦略」は策定しない。子どもたちが自然を大切にする心をもてるように、今後は市内各所で観察会を行う予定。(H28年度は昆虫、H29年度は他の動物、鳥など) 市民からの情報はWEB上で夏ごろから集める予定。

